

# 2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

※本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

1. 第2四半期 業績概要
2. 2023年3月期 重点施策・取り組み状況
3. 通期業績予想
4. 参考資料

# 1. 第2四半期 業績概要

# 受注堅調および大型案件の開発進捗などにより

## 前年同期比 増収

(単位：百万円)

	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	前年同期比 (下段:増減率)
売上高	8,663	8,975	+311 (+3.6%)
営業利益	70	19	△51 (△72.6%)
経常利益	175	170	△5 (△3.3%)
当期純利益	138	174	+35 (+25.7%)

# 営業損益変動要因

(単位：百万円)



2022/3期  
2Q

2023/3期  
2Q

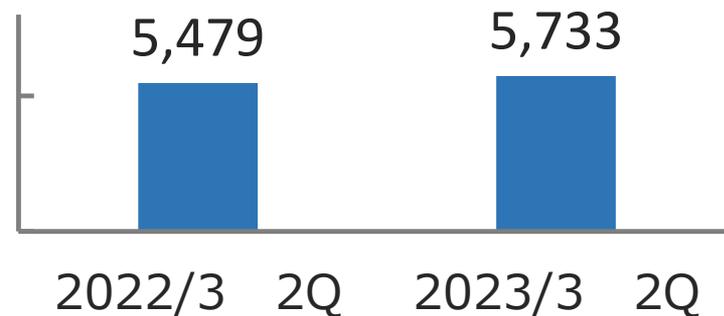
## <システム開発事業>

(単位：百万円)

	2022/3	2Q	2023/3	2Q	前年同期比
売上高	5,479		5,733		+4.7%
営業損益	242		202		△16.4%

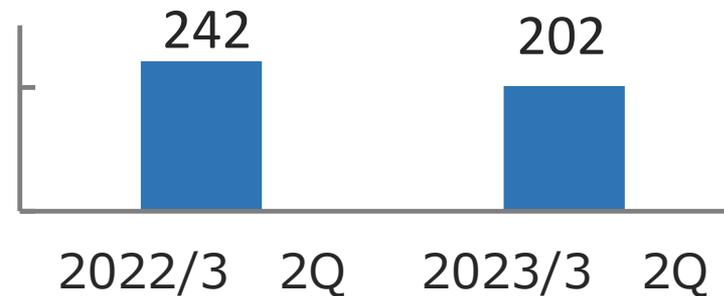
### 売上高

前期に受注した運輸系、医療系の大型案件の開発が進捗するなど、堅調に推移し、増収



### 営業損益

官庁系において生じた不採算案件などが影響し、減益



# 事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

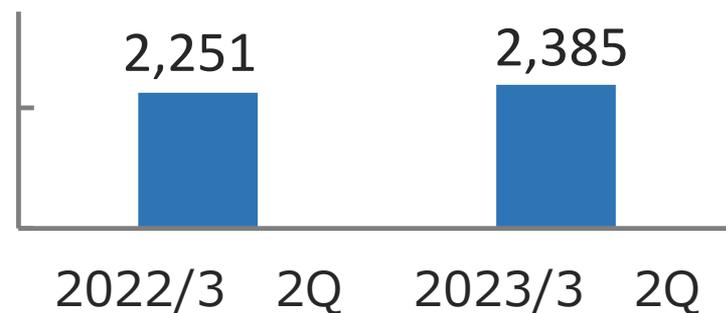
## < S I 事業 >

(単位：百万円)

	2022/3	2Q	2023/3	2Q	前年同期比
売上高	2,251		2,385		+5.9%
営業損益	△150		△86		—

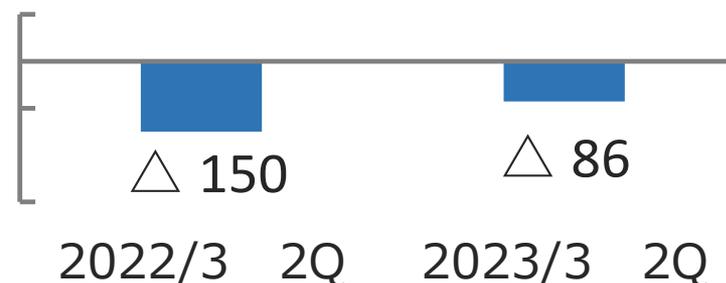
### 売上高

ERP系の大型請負案件、基幹システム刷新案件など受注が堅調に推移し、増収



### 営業損益

前期発生した不採算案件の体制強化費が増加したものの前期比改善



# 事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

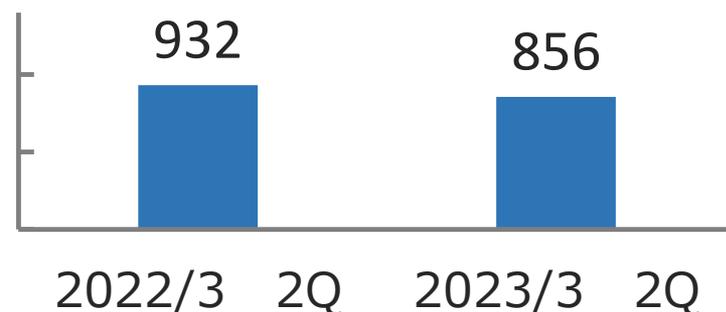
## <その他事業>

(単位：百万円)

	2022/3	2Q	2022/3	2Q	前年同期比
売上高	932		856		△8.2%
営業損益	△9		△86		—

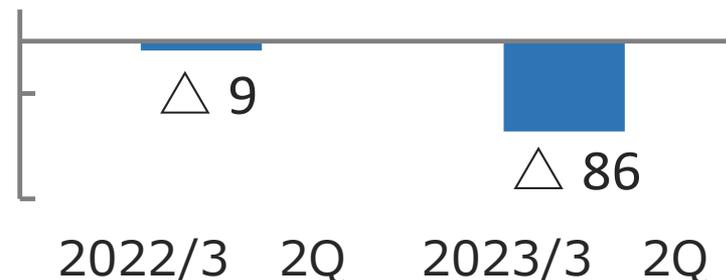
### 売上高

新事業系が堅調に推移したものの、サポートサービス系、販売系が軟調に推移し、減収



### 営業損益

売上高の減少および販売体制強化による費用増などにより、減益



## **2. 2023年3月期 重点施策・取り組み状況**

# 中期経営計画「Vision2026」概要

5カ年中期経営計画(2023年3月期～2027年3月期)

## 「Vision2026」

### 基本方針

I	基盤事業の 質的転換	プロダクト・クラウドサービスの活用拡大 請負案件の受注拡大 特定チャネルJEIS、KEL、CMJ*との連携強化 不採算プロジェクトの抑制
II	プライムビジネス の拡大	プライム顧客の拡大 営業力・提案力強化(コンサルタントの育成等) ソリューション提供力強化
III	新領域への チャレンジ	新領域への参入 (サイバーセキュリティ領域、デジタル金融領域等)

2027年3月期目標値

売上高	240億円
営業利益	14億円
営業利益率	6.0%

### Phase2

基盤事業・新規領域  
の成長拡大

### Phase1

事業基盤の強化・再構築

DX加速によるIT投資需要の継続 ～2026年度見通し

\*JEIS :株式会社 J R 東日本情報システム  
CMJ :キヤノンマーケティングジャパン株式会社

KEL:兼松エレクトロニクス株式会社

## 1 大型請負案件の受注拡大

- 既存顧客(チャネル)の深耕と新規顧客獲得推進

**[上期状況]** 官庁系、通信系、運輸系を中心に受注堅調

## 2 プライム案件(一次請け案件)の受注拡大

- DX支援に向けた業務コンサルティングやITソリューション提供強化
- ERPパッケージ(SAP、Bizf、IFS等)を活用した基幹システム刷新案件の提案強化

**[上期状況]** サービス業、商社、IT業向けなど大型請負案件を獲得

### 上期受注状況・傾向

- ・ 2Q受注額(連結) 9,745百万円(前年同期比 11.9%増)
- ・ プロダクト・クラウドサービス活用案件が拡大

## 3 資本業務提携先3社 JEIS、KEL、CMJとの連携推進

- シナジー創出に向けた各社との連携強化

**[上期状況]** JEIS:新領域の受注拡大、KEL:インフラ構築を含む案件の共同提案を実施、CMJ:複数案件での協業開始

※JEIS :株式会社 J R 東日本情報システム                      KEL:兼松エレクトロニクス株式会社  
CMJ :キヤノンマーケティングジャパン株式会社

## 4 不採算プロジェクトの発生抑制

- プロジェクト管理本部および部門PMOによる監視体制の強化
- 開発の標準フレームや方法論を事業・領域別など、より細分化し適用拡大

**[上期状況]** システム開発事業における不採算案件、およびERP系の前期発生の不採算案件は当期内に収束見込み

## 5 新領域への取り組み

- サイバーセキュリティ領域、デジタル金融領域への参入に向けた取り組み

### [上期状況] サイバーセキュリティ領域:

グローバルセキュリティエキスパート(株)のトレーニング受講によりエンジニアを育成

### デジタル金融領域:

(株)デジタルアセットマーケットツとの情報交換、社内有識者の増加



# トピックス (キーウェア東北株式会社を新設)

- キーウェア東北株式会社(連結子会社)を設立(2022年7月)
- キーウェア東北株式会社が、いわぎんリース・データ株式会社とシステム事業の承継契約を締結(2022年9月)

< 2022年7月新設 >

**キーウェア東北株式会社**

(キーウェアソリューションズ  
100%子会社)

2023年1月事業開始

**いわぎんリース・データ  
株式会社**

(岩手銀行100%子会社)

システム部門を承継

### **3. 通期業績予想**

# 2023年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	
	実績	予想	前期比
売上高	18,427	19,500	+5.8%
営業利益	551	670	+21.5%
経常利益	755	760	+0.6%
当期純利益	556	560	+0.7%

# 御清聴いただきありがとうございます



お問い合わせ

E-Mail : [ir@keyware.co.jp](mailto:ir@keyware.co.jp)

TEL : 03-3290-6802

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。

## 4. 參考資料

社名	キーウェアソリューションズ株式会社		
事業内容	1. システム開発事業 (アプリケーションシステムの構築に関する業務、および、インフラ関連のシステム開発に関する業務) 2. 総合ITサービス事業 (システムインテグレーション業務/サポート・サービス業務/販売業務/パッケージ業務)		
代表者名	代表取締役社長 三田 昌弘		
設立	1965年5月		
資本金	17億37百万円		
売上高	184億円 (2022年3月期・連結)		
従業員数	1,158名 (2022年3月末現在・連結)		
主要法人株主	株式会社HBA 兼松エレクトロニクス株式会社 住友生命相互保険会社 株式会社JR東日本情報システム キヤノンマーケティングジャパン株式会社 株式会社三井住友銀行 (2022年3月末現在)		
連結子会社	キーウェアサービス株式会社 キーウェア北海道株式会社 キーウェア東北株式会社 キーウェア西日本株式会社 キーウェア九州株式会社 株式会社クレヴァシステムズ 株式会社オーガル		

## 事業領域

情報技術に関する全てを事業領域とします。

## 企業風土

個人の個性と能力を発揮する事に価値を置きます。

## 社会的役割

創造性に富んだ情報技術によってお客さまの要求を超えたソリューションを提供し、お客さまの夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。

## 企業スローガン

IT can create it.  
クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

## Phase1

技術者派遣、受託開発で  
実績と評価を獲得

- 1965年 ・コンピュータの総合コンサルティング会社として日本電子開発株式会社設立
- 1974年 ・事務処理ソフトウェアモジュール技術研究代表組合理事となる  
・宇宙開発事業団試験ロケット打ち上げをソフト部門で支援協力、宇宙開発分野でのソフトウェア開発事業を確立

## Phase2

総合サービスによる  
高付加価値事業へ

ロータス、SAPジャパンなど最新技術を持つテクノロジーパートナーと協業を開始

- 1988年 ・SI企業（第1期認定企業）として通商産業省より認可
- 1991年 ・ヘルプデスクサービス事業を開始
- 1994年 ・ソリューションセンターを開設しオープンシステム技術開発・蓄積に取り組む  
・ロータスノーツなどのISV認定技術教育事業の開始  
・SAPジャパン社との協業により、ERP（R/3）事業立上げ
- 1995年 ・フィールドサービスセンターを設置し、コンピュータ保守事業を立上げ

## Phase3

ITソリューションプロバイダーとして  
更なる進化

ISO9001、プライバシーマーク、ISMSを  
業界の先駆けとして、認証取得し、  
他社をコンサルティングできる体制を確立

- 1999年 ・品質マネジメントシステム（ISO9001）を全社で認証取得 ・SAP R/3自社導入
- 2000年 ・プライバシーマーク制度認証取得
- 2001年 ・社名をキーウェアソリューションズ株式会社に変更 ・キーウェアサービス(株)設立
- 2002年 ・SAPジャパンより、SAP AWARD OF EXCELLENCE 4年連続受賞  
・情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（本社）
- 2003年 ・情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（グループ全体）  
・キーウェア北海道(株)、キーウェア西日本(株)、キーウェア九州(株)設立
- 2006年 ・ジャスダック証券取引所に株式を上場 ・資本金を17億37百万円に増資

## Phase4

ジャスダック、東証2部上場  
事業領域の拡大に向けて加速

クレヴァシステムズを子会社化

IT新時代に向けた積極的な取り組み

- 2008年 ・東京証券取引所第2部に株式上場 ・株式会社クレヴァシステムズを子会社化
- 2009年 ・東京証券取引所ディスクロージャー新人賞を受賞
- 2010年 ・株式会社NTTデータ イントラマートとBizjソリューション販売に関する特約を締結  
・Bizj AWARD 2010 秋において「Excellent Project Partner's Award」を受賞  
・IFSジャパン株式会社とビジネスパートナー基本契約締結
- 2011年 ・Bizj AWARD 2013 春において「Sales Partner's Award」を受賞
- 2013年 ・合併事業会社「株式会社イーテア」設立 ・Bizj AWARD 2017において「Excellent Award」を受賞
- 2017年 ・ASTERIA Partner Summit 2018において「ASTERIA Contribution Award 2018」を受賞
- 2018年 ・キャノンITソリューションズ株式会社より「Web Performer 2019年度 エクセレントアワード」を2年連続受賞
- 2019年 ・株式会社HBAと資本業務提携契約を締結  
・テクノスデータサイエンス・エンジニアリング株式会社と資本業務提携契約を締結
- 2020年 ・Bizj AWARD 2020 において「Excellent Award」を受賞
- 2021年 ・兼松エレクトロニクス株式会社と資本業務提携契約を締結  
・キャノンマーケティングジャパン株式会社と資本業務提携契約を締結  
・キャノンITソリューションズ株式会社より「Web Performer 2021年度 エクセレントアワード」を受賞  
・Bizj AWARD 2021 において「Excellent Award」を受賞  
・株式会社オーガル設立 ・株式会社J R 東日本情報システムと資本業務提携契約を締結
- 2022年 ・キーウェア東北株式会社設立